

発行 幌延町農業協同組合

本 所 天塩郡幌延町2条北1丁目14番地
T E L (01632) 5-1211
F A X (01632) 5-1214
問寒別支所 天塩郡幌延町問寒別52番地
T E L (01632) 6-5111
F A X (01632) 6-3620

令和7年 年頭にあたり

幌延町農業協同組合

代表理事組合長 無量谷 稔



新年明けましておめでとうございます。
2025年新春を組合員皆様と共に迎えられました事は慶びに堪えない次第であります。

さて昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されてから2年目を向かえ、徐々に元の経済活動に戻りつつあるものの、円安の影響・人手不足等により物価が高騰し、インフレに大きく振れる状況になりました。物価上昇により大企業中心に賃上げが実施されましたが、特に食糧品の値上げに賃上げが追いついていない状況にあり、我々畜産・酪農から生産される牛肉・飲用牛乳の消費が減退し、市場価格の下落に繋がっております。せっかく乳価の値上げがあったにも関わらず酪農家の経済状況はむしろ昨年より悪化しました。その要因としては、依然として飼料価格が高止まりする中、配合飼料への安定基金の発動が春以降されていない事により、経費の高騰をカバーするまでの乳価の値上げになっていないことが影響していると思います。又昨年度には国や道、町村等の高騰対策などの支援がありましたが、本年度はなかったため組合員皆様の組勘整理等において大変ご苦労されたことと思います。その様な状況ではありましたが幌延町からは、緊急支援事業として昨年と変わらずのご支援をいただきま

した。本当にありがとうございました。今後も何かとご支援を賜ればと思います。

現在、日本の酪農家はこの10年で半減し、とうとう1万戸を割りました。本組合においても離農の歯止めがきかない状況にあります。又昨年は、今まで経験した事がない天候不順に見舞われ一番牧草の収穫時期が8月中旬頃まで遅れました。組合員の皆様におかれましては、大変ご苦労されながら収穫作業に追われた年だったと思います。この事は生乳生産にとって大きなダメージとなり、中々前年を上回る生乳生産になりませんでした。組合員皆様のご苦労と不断のご努力に感謝申し上げます。

現在乳価の改定に向けて、ホクレンと乳業メーカーとの協議が続いております。年内に決着する状況にはありませんが、生産者が納得できる価格改定である様念じている所でございます。元より私が申し上げておりますが、『1kgでも多く牛乳を搾る事が経営を守る事』に繋がると信じております。

まだまだ大変厳しい情勢ではありますが、ご家族皆様が今年1年健康でありますとともに、益々のご繁栄を役職員一同心から祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。



謹賀新年 (令和7年 元旦)



代表理事 副組合長	菅野 寛 治	理事	小島 和 博	監 事	無量谷 裕 二
理 事	加藤 敬 弘	学経理事	阿 部 幸 二		
理 事	佐藤 浩 幸	信用担当 理 事	林 洋 喜		
理 事	高城 春 彦	代表監事	石 崎 博 樹	外 職 員	一 同

おいしい牛乳は健康な牛から

年頭挨拶

幌延町長 野々村 仁



新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、健やかに令和7年の新春をご健勝で迎えられましたことに心からお慶び申し上げます。

また、日頃から町政の運営に対し、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は一段落いたしました。酪畜産業を取り巻く情勢は、世界的な穀物需要の増加や為替変動、ウクライナ情勢の影響による原油価格や配合飼料価格の高騰、需要減少等による生乳の生産抑制に加え、人口減少に伴う担い手不足等による労働力確保や生産性維持への対応など、様々な課題に直面しております。

こうした中、将来を見据えた酪畜産の持続的な発展と競争力の強化を図るためには、広大な土地資源を活かした飼料の安定生産により飼料自給率を高水準に



令和7年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 樽井 功

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも早く進んでおりました。しかしながら、夏場は猛暑・豪雨による記録的な高温多湿の影響を受け、各作物等の収量および品質に影響が出た年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

昨年には、四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法が改正され、現状に即した基本理念の見直しと、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」等の実現が盛り込まれました。政府は、初動5年間に農業構造転換集中対策期間と位置づけ、施策を集中的に実行するとともに、今年3月に食料・農業・農村基本計画を策定するべく引き続き検討を進めております。

J Aグループ北海道としては、食料安全保障の強化と

確保し、飼料生産基盤に立脚した経営の確立と環境保全型・地域循環型生産構造の構築に向けて、草地畜産基盤の総合的な整備を進めていくことが重要だと考えております。

本町の基幹産業である酪農業の振興のため、持続可能な生乳・肉用牛の生産維持に向けた農業機械設備等の更新支援や草地の改良や更新に係る牧草種子の購入費用を支援することにより、草地型酪農及び肉用牛生産を推進し、自給粗飼料の生産・利用拡大を図ります。

また、新規就農に向けた農業分野の地域おこし協力隊の受入れを継続して、新規就農者の育成・確保に努めてまいります。

なお、事業を推進するためには、組合員の皆様をはじめ、幌延町農業協同組合や関係機関との連携強化が必要不可欠でありますので、これからも温かいご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、令和7年が幌延町農業協同組合、組合員、地域の皆様方にとって、最良の年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

持続可能な北海道農業の確立のために、農地の確保および適正利用の強化、食料・自給飼料等の安定生産・供給と環境負荷軽減の両立に取り組みながら、それを後押しする力強い政策支援を求めていくことが重要と考えております。

また、昨年は第31回J A北海道大会が開催され、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「J Aの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」、「アグリアクション北海道の推進による農業・食・J Aへの理解醸成」の3つの議案を決議いたしました。

今後、議案の達成に向けて、組合員・J A・連合会が一丸となって、生産現場の行動変容と組合員の意思結集による農政運動、J Aの経営管理の高度化やデジタル化の推進による業務効率化・生産性向上に取り組んでいかなければなりません。

さらに、消費者の皆様には、J Aグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させるとともに、効果的な情報発信により、今まで以上に農業・食・J Aに対する理解を深めていただき、J Aグループが提唱する「国産国産」の認知を広めてまいりましょう。

結びになりますが、本年は巳年です。巳（へび）は冬眠から目覚め地上に這い出すことから、冬に根をはった草木が芽を出し「新しい種子が生まれる」という意味があると言われ、転じて、巳年は力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、脱皮する特性と併せ「再生と誕生」を意味する年だと言われております。

この謂われにあやかり、本年が北海道農業の飛躍の起首となること、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

災害にくじけぬ力JA貯金

◆ 牛乳出荷状況 ◆

令和6年11月分出荷状況は次の通りです。

実績 2,199,350kg
前年 2,282,730kg

前年対比 96.3%

<令和6年4月～令和6年11月>までの全体累計

実績 18,823,590kg

<令和5年4月～令和5年11月>までの全体累計

実績 19,883,910kg

前年対比 94.7%



■ 日頃から良質乳の出荷に努めよう ■

良質乳生産は毎日の正しい搾乳手順と正しい洗浄方法に心掛け、今後とも生菌数1万・体細胞数30万以下の良質乳を出荷する様に努めましょう。

☆ 12月の生菌・体細胞検査の結果 ☆

生菌数	上旬	中旬	下旬
1.4万以下	48戸	44戸	45戸
1.5～3.9万	2戸	5戸	2戸
4万以上	0戸	1戸	2戸
体細胞数	上旬	中旬	下旬
30.4万以下	37戸	36戸	34戸
30.5～40.4万	4戸	8戸	11戸
40.5～50.9万	4戸	2戸	2戸
51.0～99.9万	5戸	4戸	2戸
100万以上	0戸	0戸	0戸

☆ 11月分乳成分率検査成績表 ☆

単位：%

項目	幌延	留萌管内	全道
脂肪率	4.228	4.199	4.218
たんぱく質率	3.546	3.509	3.469
無脂固形分率	8.963	8.923	8.922
全固形分率	13.191	13.121	13.141
乳糖・灰分率	5.417	5.413	5.453

■ 第11回理事会開催 ■

第11回理事会を12月25日に開催し、次の事項について審議がなされました。

【報告事項】

- 業務の推進状況報告
 - 1) 主要行事の報告
 - 2) 組合員の加入・脱退等の状況報告
 - 3) 生乳出荷状況報告
 - 4) 財務状況報告
 - 5) JA幌延町不祥事再発防止の取組状況報告
- 6) 内部監査報告
- 7) 地区懇談会の顛末報告
- 8) 令和6年度大家畜経営改善計画の承認について

【附議事項】

1. 第3四半期自治監査講評
2. 債務整理精算状況及び特別指導組合員に対する融資について
3. その他

★ 1月 特売情報 ★ 幌延給油所・問寒別給油所

特売日は下記の通りです。

幌延町給油所	問寒別給油所
3(金)・4(土)	3(金)
17(金)・18(土)	16(木)・17(金)
31(金)・2/1(土)	30(木)・31(金)

◎3日・4日⇒幌延給油所日直体制(8:00～16:00)

◎3日⇒問寒別給油所日直体制(9:00～12:00)

※年末年始の営業日については12月号掲載『年末年始業務体制』をご確認下さい。

☆ 1月 催事について ☆
本所(1階ロビー)
16(木)・17(金)

本年も宜しくお願い申し上げます。
皆様のご来店を心よりお待ちしております！

● 家畜市場日程 ●

- 1月7日(火) 豊富一般市場 午前10時30分
1月14日(火) 豊富一般市場 午前10時30分
1月21日(火) 豊富一般市場 午前10時30分
1月28日(火) 豊富一般市場 午前10時30分
1月30日(木) 豊富乳牛市場 午前10時00分

- ◎モクシは必ず新しいものを使用して下さい。
◎一般・乳牛・育成市場共に申込受付は締切日の午前中までに申込をお願い致します。
◎一般・乳牛・育成・肉牛市場への申込FAXの際には、**必ずホスホマイシン使用の「有・不明・無」を申告**願います。
◎乳牛・育成・和牛市場共に登録書を販売係に渡して下さい。(支所地区は問寒別支所に提出して下さい。)
◎各市場・廃用牛の集荷申込は、**9-4660**販売係専用FAX番号へお願い致します。

乳牛市場 申込締切日

開催日：3月21日(金) 豊富地域家畜市場
締切日：1月10日(金) 午前中まで
*授精歴を記入してお申込下さい。
*販売牛の洗浄、削蹄を実行しましょう。

冬期間中の市場日は運搬事故防止の為に、除雪作業をお願い致します。

廃用牛集荷日程 屠場集荷休み予定

年始：1月6日(月)
1月13日(月)：成人の日

※大変混み合う事が予測されます。その際は、順次調整させていただきますので、予めご了承下さい。

道北協同操業株式会社 休業日予定

1月3日(水) まで休業
1月13日(月)：成人の日

JAへの就職希望者100%就職(令和5年度実績)

令和7年度第3回学生募集

- 定員40名●男女共学●1ヶ年●寮完備(個室)●通学制開始
- 受験資格：満27歳未満(令和6年4月1日現在)／大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日：令和7年2月2日(日)
- 願書受付：令和7年1月6日(月)～1月24日(金) 消印有効
- オープンキャンパス随時開催中

JAグループ職員養成校 JAカレッジ
令和7年度より通学制開始

一般社団法人 北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1 ☎0120-918-417

年始の生乳検査業務体制

年始の生乳業務体制は下記の通りです。

★依頼検査(体細胞数)・PAGs検査★

1月6日(月)から受付開始

★毎日バルク乳検査★

1月3日(金)採取分から検査対応

★抗生物質残留検査★

1月2日(木)から受付開始

トナカイホワイトフェスタ 2024

12月21日(土)、トナカイ観光牧場にて「トナカイホワイトフェスタ2024」が開催されました。

本組合よりホットミルクの無料配付、雪印メグミルクよりチーズの無料提供し乳製品のPR活動を行いました。



学ぼう! 正しい安全知識

～機械作業の安全対策～
一番危険なのは「慣れ」 農作業安全研修を受講しましょう。

- ✓安全フレーム装着した?
- ✓ヘルメット着用した?
- ✓シートベルトした?

令和6年農作業安全対策推進ポスター
農林水産省